

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	35621	
事業名	創造都市ネットワーク活用費						
評価担当課	所属名	市)文化部 文化振興課					
	課長名	浜部 公孝	担当者名	星 奏衣	電話番号	211-2261	
施策名	主	シティプロモート戦略の積極展開					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	・ユネスコ認定のメディアアーツ都市としての札幌市の認知度向上 ・メディアアーツ分野を中心とする市民の創造的活動や都市課題解決の支援				
		長期	・国際的な都市ブランドの価値向上及びシビックプライドの醸成 ・創造性を活用した都市の活性化及び創造的人材の支援・誘致				
	取組内容	【目的】ユネスコ認定のメディアアーツ都市としての札幌市の認知度向上 【内容】 ①ユネスコ創造都市ネットワーク(UCCN)、創造都市ネットワーク日本(CCNJ)等の都市間ネットワークを活用した国内外の創造都市との連携・交流 ②UCCN加盟分野であるメディアアーツを活用した若手人材育成事業を中心に、実験的・先駆的イベント等を産学官連携により実施					
実施結果	①令和3年11月に4年に1度のユネスコ創造都市加盟資格モニタリング報告書を提出した他、海外メディアアーツ12都市とともに、各都市選定作家とチームを組み、オンラインで作品共同制作を行う連携事業を実施。完成作品は各都市で実地・オンライン展示が行われた。②市内中心部で行うアートイベントは札幌駅前通地区活性化委員会とコロナ禍でも実施可能なメディアアーツ展「パラレルミュージアム」を実施した他、NoMaps実行委員会と実地イベントを一部オンラインに組み替えながら実施。また、人材育成事業でもハイブリッドのワークショップを実施した。						
事業実施における工夫点	ユネスコ創造都市ネットワークを活用したオンライン国際連携事業に参加し、コロナ禍においても札幌のメディアアーティストが海外作家と交流する機会を創出した。市内のメディアアーツイベントについては実行委員会等と感染状況を早掘えながら、イベントを中止することなくハイブリッド開催を実施した。						
対象者	市民全般、観光客			開始	0 年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等	札幌市文化芸術基本条例、創造都市さっぽろ(sapporo ideas city)宣言、UCCNミッションステートメント						
他都市の状況	○UCCN加盟国内都市：【デザイン】神戸市、名古屋市、旭川市【クラフト】金沢市、丹波篠山市 【音楽】浜松市 【食文化】鶴岡市、臼杵市 【映画】山形市 ○CCNJ国際ネットワーク部会加盟都市：全15自治体 ○その他：横浜市…文化芸術創造都市、クリエイティブヨコハマ						

◎事業費

(単位：千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	17,227	29,000	24,771	29,000
うち特定財源	5,674	6,694	7,046	8,694
人工	1.8	1.8	1.8	1.8
人件費	12,960	12,960	12,960	12,960
計(事業費+人件費)	30,187	41,960	37,731	41,960
事業費の内訳	令和3年度決算	①創造都市ネットワーク関係費(会議、共同展示会参加費等の経常的経費)【7, 930】(うち特財500) ②市内イベント等開催費【16, 841】(うち特財6, 546)		
	令和4年度予算	①創造都市ネットワーク関係費(会議、共同展示会参加費等の経常的経費)【9, 000】 ②市内イベント等開催費【20, 000】(うち特財10, 186)		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	連携・交流している創造都市数(累計、R04目標25都市)				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定		
	28	23	32	25(33)		
活動指標2	指標名					
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定		
成果指標1	指標名	年間来客数(R04目標1,800万人)				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標		
	570.5万人		789.3万人	1,800万人		
成果指標2	指標名					
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標		
項目	判定	理由				
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	①国内新規3都市、国外新規1都市と連携し都市間交流を促進した(本市主催図書・情報館選書棚企画1件、オンライン共同制作1件)。 ②公共施設や公共空間を活用したメディアアーツイベントを産学官の連携により多数実施した。				
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	本施策に係る市内認知度向上及びユネスコ創造都市加盟分野である「メディアアーツ」に触れる機会の創出のため、文化庁補助金を活用してイベント開催数を増やし、多様な層へのアクセス向上を図った結果、延べ25,000人の参加者を得た。(内訳:人材育成事業:69人、NoMaps:3,251人、創造都市関連図書展示:4,777人、パラレルミュージアム:16,903人。※オンライン含む)新型コロナウイルスの影響を受け、一部のイベントをオンラインにせざるを得なかったものの、認知度向上や機会創出を図るという目的に対して適切な事業規模であった。				
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	各種実行委員会への参画や、業務委託などの手法による民間事業者や教育研究機関のノウハウを活用することで、高い事業効果が得られた。以上から実施手法は適切である。				
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	①ネットワークを活用して国外12都市と連携事業を行うことで、特に作品共同制作の相手方となった都市とは、相互に都市の広報を行うことができた。 ②コロナ禍にあっても実施できる手法を模索し、新たなコンテンツ体験を生み出した。人の密集を避けつつも、オンライン等を駆使してメディアアーツを体験してもらうことができた。 以上から、対象者のニーズに応えていると考える。				
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	創造都市ネットワーク事業の見える化を意識し、メディアアーツ若手人材育成事業を中心とした事業の見直しを行う。地域レベルでの優良事例を札幌からネットワークを活用し他都市へ展開し国際連携事業へと繋げていく。					
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし					
今年度取り組んだ見直し内容	文化庁補助金やコロナ禍により使用できなかった旅費を最大限活用し、事業規模を拡大する。新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、できる限り多くの人に届く事業へと再構築を行う。			見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし					
評価の理由	国内外のユネスコ創造都市加盟都市と効率的に都市間交流を行い、相互の広報ができたため。また、コロナ禍でも実施できるイベント手法を模索し、新たなコンテンツを生み出すことで市内啓発イベントを実施できたため。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 引き続き、多くの市民や民間事業者等の参加を促すとともに、産学官による継続的な取組へと繋げる必要があることから、効果的な手法を検討していく。また、できる限り多くの人に届く事業を構築し、認知度向上に繋がりが得る仕組みを具体的に検討する。				
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 引き続き同程度の予算で事業を実施していく。 ※令和5年度は10%シーリング含む			見直し効果額	0